

北海道経済産業局 新規採用職員案内

Hokkaido Bureau of Economy,
Trade and Industry

2025

未来に誇れる日本をつくる。

Build Our Future



北海道経済産業局（経産局）で働くとは何ができる？

私たちの提供価値

先輩インタビュー

産業部 経営支援課 係員

悪七（令和3年度入局）



日本における全企業数のうち、99%以上を中小企業が占めていることをご存じですか？そして「支援機関」と呼ばれる金融機関や商工団体など、多くのプレイヤーが日本経済を支える中小企業に寄り添いサポートしています。私は現在、支援機関が中小企業支援を円滑に実施できるよう、支援機関の認定業務や中小企業支援施策の普及を行っています。同時に、現場の声を直に聞く機会が多いため、行政に求められていることは何かを整理し経済産業省本省に適切に届け、次の政策に反映させることも大きな役割です。

また、企業の成長において「海外展開」は一つの手段ですが、日本の優れた技術や製品であっても、軍事転用可能なものの流出等を未然に防ぐための適切な貿易管理は欠かせません。前の配属先である国際課では法律に基づく貿易管理業務に携わり、適正な貿易取引の推進に向け、関係省庁と連携しながら審査業務やセミナーの開催等を行いました。更に中央アジア出張や国際会議・G7会合の事務局派遣等、貴重な経験をすることができました。

経産局は、業務の幅が広く様々な知見や経験を得ることができ、些細な事でも周囲に相談がしやすい風通しのよい職場です。近い将来、皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！

資源エネルギー環境部 電力事業課 係長

東間（平成28年度入局）



入局初めに会計部署に配属された後、中小企業支援や創業・新事業支援の担当を経て、資源エネルギー庁に転出しました。政府は2030年度までに、二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギーの割合を36～38%、原子力発電を20～22%に引き上げるという野心的な目標（※）を掲げており、日本のエネルギー環境は大きな変化を迎えています。

資源エネルギー庁在籍中は、電力市場の価格と連動した再エネの発電をうながすFIP制度など、再エネ普及と国民負担抑制の両立を掲げる政府のエネルギー政策形成に関わりしました。多くのことを求められる中、めっちゃくちゃ勉強をして知見を深めました。大変でしたが政策が国民生活に与える影響を実感して、モノの見え方・捉え方や業務の幅を広げる良い経験になりました。2050年のカーボンニュートラル実現に向けて経産局では様々なGX関連の取組を推進しています。資源エネルギー庁から経産局に戻り、再エネ導入促進・省エネ推進に携わり、現在は発電所が立地する自治体の地域課題解決や交付金制度を通じたエネルギーの安定供給に関する業務にあたっています。

専門的知見は実務を通じてOJTやトライ＆エラーで深められます。北海道をより良くするためには何より「熱意ある人材」が重要で、今まで以上にそうした人が求められる社会になっていくと思います。経産局の業務は楽しくやりがいがありますので、皆さんの選択肢の一つになれば嬉しいです！

地域経済部 食・観光産業課 係員

伊藤（令和2年度入局）



経産局の魅力は、若手職員でもチャレンジできる機会が多いことです。そして、その挑戦を応援する組織風土があります。

私は入局2～3年目に企業の若手後継者による新規事業等への挑戦、いわゆる「アトツギ」支援を担当しました。SNSコミュニティの立上げや各種イベントの企画・運営など、初めての体験ばかりでしたが、経験豊富な先輩職員が手厚くサポートしてくれました。

そして、入局5年目となる現在は道産食品の輸出支援を担当し、海外の現地バイヤーと道内企業をつなげるマッチングなど、様々な新事業に取り組んでいます。北海道の強みである「食」を世界に発信する、大変やりがいのある仕事です。

他の部署でも産業人材施策の立案や組織全体の業務改善などに取り組みましたが、局内からアドバイスを多数いただいたからこそ、諦めずにやり遂げることができました。先輩職員の経験談を聞く研修やランチミーティングも充実しています。

このパンフレットを読んで少しでも当局に興味を持っていたいただいた方は、是非経産局ホームページ等をご覧ください。自分が挑戦したいことをイメージしてみてください。未来に誇れる北海道を共につくりませんか？

総務企画部 企画調査課 課長補佐

田中（平成13年度入局）



出る杭を伸ばす。

私が入局した当時使われていた、このキャッチフレーズに惹かれて入局しました。

経産局には、立場や年齢にかかわらず自分の意見を述べたり、自分で考えてやってみよう、という前向きな姿勢を応援する文化があり、前向きな企業と一緒に仕事をする機会も多いです。

若い頃に企業に省エネを促す仕事をしましたが、企業に訪問して、省エネには様々な方法があり正解がないことや、正解のない中で苦勞している企業の担当者が多いことに気が付きました。企業の様々な事例をまとめれば担当者の助けとなり「省エネは進むはず」と仮説を立てて企画書を作ったところ、上司にも応援してもらい実現することができました。省エネ事例集を多くの企業に見てもらったことで、企画することの楽しさと仕事のやりがいを感じることができました。

現在は地方創生に関わる業務をしています。大学生や高校生に講義を行い、データを使って地域課題や解決するアイデアを考えたり、アイデアを実現する活動をサポートしているのですが、道内の地方に足を運ぶとどの地域も様々な課題を抱えていることに気が付きます。

課題先進地の北海道で、日本をより良くすることを共に考え、行動してくれる皆さんと仕事ができる日を楽しみにしております。

経産局で働くと何ができる？

私たちの提供価値

先輩インタビュー

技術系／経済産業省
(本省) 出向！

資源エネルギー環境部
資源エネルギー環境課 係長

佐藤 (平成30年度入局)



理工系の学部卒業後、道内の金融機関に2年弱勤めた後に公務員試験を受け、技官として経産局に入局しました。

入局1年目は産業部の総括業務、2～3年目はスポーツビジネスやコンテンツ産業の支援を担当し、4～5年目に資源エネルギー庁への出向を経験しました。資源エネルギー庁では、より安価で効率良く電気を供給するために蓄電池等を活用したエネルギーマネジメントの取組を推進する業務に携わりました。

そして現在、経産局に戻ってきて、引き続きエネルギーマネジメントの推進や、水素といった新しいエネルギーの活用拡大を進める業務を担当しています。

このように技官として採用されても、分野をまたいで幅広い業務に携われることができ、多様な視点から柔軟に物事を考える能力を育てることが経産局の魅力です。これから2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、これまで想像できないような多様な分野の業種の方々がエネルギー関連の事業に参画してきます。そのような中、理系の専門的な知識を持ちつつ、多様な分野にも精通する技官職員は、経産局にとっても事業者にとっても非常に貴重な人材となること請け合いです。

一緒に2050年のカーボンニュートラル実現に向け頑張っていただけの方をお待ちしています！

経済産業省 商務・サービスグループ
文化創造産業課 (出向中)

津守 (令和元年度入局)



私は昨年5月から経済産業省(本省)に出向し、現在は音楽・ゲーム・アニメ・映画といったコンテンツ産業の振興や海外展開などを所管する文化創造産業課で働いています。

中でも、印刷業・アニメーション制作業の業界担当、コンテンツ制作を支援する補助金の執行などが私の主な業務です。

コンテンツ産業は政府においても基幹産業と位置づけられ、首相官邸での協議会が開催されるなど注目度が高まっています。その中で日本のコンテンツ産業の更なる発展のために何ができるのかを考える日々は、日本の経済の中枢を担う本省ならではの経験であり、本省での政策立案や業務の流れを知ること今後の経産局での業務に繋がる経験だと感じています。

国会对応など本省特有の仕事もある一方で、補助金や事業の執行、事業者の方との関わり方は経産局で学んだことを活かしながら取り組んでおり、全く未知の世界ということはありません。

本省出向と聞くと不安に思う方もいらっしゃるかもしれませんが、様々な経験や東京生活を楽しめる一つの機会だと思って、そんな機会もある経産局での仕事をぜひ選択肢に入れていただけると嬉しいです！

Schedule

スケジュール

先輩職員のとある一日 \ 経営支援課 編 /

8:30

9:00

出勤！



前日までの企業経営者の方からの相談事項をまとめ、上司・同僚と対応方針について打合せします

10:30



中小企業を支援する様々な機関から、中小企業施策に関する問い合わせをいただきます。一つずつ丁寧に対応していきます！

14:00



中小企業施策の説明会講師として、外勤にでかけることも

17:30



説明会終了後、同僚との飲み会です！

私たちがここに決めたワケ 新入職員座談会



内山

産業保安監督部
電力安全課

赤井

産業部
中小企業課

石岡

資源エネルギー環境部
資源エネルギー環境課

佐々木

総務企画部
総務課

藤田

産業部
中小企業課

高崎

産業部
産業振興課

松倉

総務企画部
会計課

経産局を志望した理由は？

国の機関でありながら北海道に寄り添った業務を行える点や、経済分野について広く扱える点が魅力的でした。説明会に参加した際には、10年後のビジョンや今挑戦したいことについて明確に語ってくれる職員の方が多いと感じ、私も同じように将来への展望を持って働きたいと思いました。

リクルート活動で工夫したことは？

松倉

情報をしっかりと集めることです。特に、経産局の業務内容については志望動機に関わるため、ホームページや資料を調べて理解を深めておくことが大事だと感じました。調べる過程で、経産局でやっていることがどんどん見えてきて、興味の幅も広がるので一石二鳥です！そしてわからないことは、説明会や官庁訪問でたくさん聞くようにしました。

高崎

私は幼い頃から人の役に立つ仕事がしたいという思いがあり公務員になりたいと考えていたのですが、説明会の中で感じた経産局の人の良さや、若手職員の多さに魅力を感じました。



高崎

面接での受け答えを作り込みすぎないようにしました。予め準備した文章で話していることは面接官に伝わります。なので、想定する質問に対しての自分の考えは準備しましたが、面接時にはその考えを自然体で話すことを心がけました。面接では自分を作りすぎずに、正直になることが大事だと思います。その方が自分自身の良さも面接官に伝わるのではないかと思います！

石岡

理系大学出身であることもあり、就職活動の軸をインフラに置きながら、さまざまな業界のインターンに参加しました。その中で企業支援にも興味を持ち、そのどちらにも取り組むことができる経産局に魅力を感じ、志望しました。

内山

私も理系大学出身ですが、エネルギーの観点から、北海道の暮らしを守る北海道産業保安監督部の業務に惹かれ志望しました。説明会に参加した際、申請の審査のみならず自らの目で設備を点検する立入検査も行っていると聞き、専門性は高いながらも現場に向くなど、幅広い業務があると知り、強い興味を持ちました。



赤井

私は面接に苦手意識があったので、同じく公務員を目指す友達にお願いし、何度も練習しました。採用試験に関する情報や不安なことを友達と共有することも役立ったと感じています。

Organization 経済産業省の地方組織



経済産業省には、各地方で経済産業政策の遂行を担う2つの地方組織、「経済産業局」と「産業保安監督部」があります。

北海道経済産業局は、経済の好循環と地域産業の発展を支え、北海道産業保安監督部は、電力・ガス・鉱山等の分野の産業保安や労働者の安全確保を担っています。

北海道経済産業局と北海道産業保安監督部は、同じ経済産業省の地方組織として、採用後の新人研修を合同で行ったり、人事交流を進め、共に地域の産業基盤強化に取り組んでいます。

経済産業省

経済産業局

産業保安監督部



入局後の印象・雰囲気は？



内山

若手でも積極的に業務に挑戦することができる職場です。上司の方々も気さくな方ばかりなので、毎日楽しく業務に励んでいます。

また、経験豊富な方に囲まれ、自身の成長を実感できるのも楽しく業務ができる一因だと思います。

石岡

質問しやすい環境であるのはもちろんのこと、何でも丁寧に教えてもらえます。上司より先に退職してはいけない雰囲気はありませんし、月イチ有給休暇が推奨されており、オフを充実させる環境も整っています。



藤田

入局前の「公務員」のイメージと異なり、前例にとらわれず、挑戦することを歓迎する雰囲気があると思います。若手でも業務に改善の余地があれば提案でき、楽しく働くことができます。

また、コミュニケーションも活発で、上司や先輩に質問しやすく、「なぜそうすべきなのか」という理由まで丁寧に教えていただき、日々たくさんのことを学んでいます。

赤井

尊敬できる先輩や上司が沢山います。

食事に誘っていただくなど気にかけていただいたり、些細な悩みを聞いていただいたり、仕事への向き合い方を教えていただいたりと、日々多くのことを学べる環境だと思います。

就活生へのメッセージ

佐々木

就活中は不安なことだらけかと思います。

実際私もそうでした。その頃を振り返ると、周囲の人に相談しアドバイスを貰うなどして、肩に力が入りすぎないようにするのが、状況を打開するカギだったかなと思っています。皆さんと共に働くことができる日を楽しみにしています！



松倉

就職活動は自分自身と向き合う数少ない時間であり、自分の今後を決める重要な瞬間です。就職活動を進めていく中でうまくいくこと・うまくいかなかったことなど色々なことを体験すると思いますが、それらすべてを吟味した上で、悔いの残らないように決断をしてください。

息抜きを忘れずに、就職活動頑張ってください。応援しています！

藤田

経産局はやりがいと働きやすさのバランスが取れた職場だと思います。面接官である上司は優しく面白い方々ばかりなので、迷っている方はぜひ面接を受けてみてください！

皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています！

Workstyle 働きやすい職場づくり

時差出勤・フレックス制度



出勤時間を3段階から選択できる時差出勤制度を導入。育児や介護などが必要な職員は、一定期間内の総勤務時間を変えずに、始業・終業時刻及び1日の勤務時間を設定できる「フレックス制度」を利用できます。

仕事と家庭の両立支援



未就学児を養育する職員が1日最大2時間まで勤務時間を短縮できる「育児時間」、未就学児の看護のための「看護休暇」（1年間で5日まで）などが整備されています。

男性職員が取得できる「配偶者出産休暇」、「育児参加休暇」、「育児休業」などの取得も進んでいます。

経済産業“技官”の活躍

産業部 産業振興課 課長補佐

当局職員のうち約3割は「技官」です。
学生時代に理系学問を学んだ職員に、
経産局の魅力を聞いてみました。

小島（平成16年入局）



技術的な知識や経験の下地を身につけたみなさん方が活躍 できるフィールドが数えきれないほどある

Q1. 公務員・北海道経済産業局を目指した理由は？

電子工学を専攻し修士課程に進んだのですが、研究のように時間軸が長い仕事よりも、自分が社会の役に立っていることが少しずつでも実感できる仕事をしたいと思ったのがきっかけです。そう思って行動（＝大学院を中退…苦笑）に移したタイミングで目の前にあったのが公務員試験で、藁にもすがる思いで受験したのを覚えています。

技官向け官庁合同説明会の印象で経産局を目指すことに決めました。いま振り返ると勢いだけで決めていたような気もしますが、採用してもらえて本当によかったです。

Q2. これまでのキャリアパスを教えてください

係員の頃は電気保安行政からスタートし、電源地域（電力の安定供給に重要な設備が立地する地域）の振興業務、会計・予算業務を経験しました。

本省出向時は、国際会議の運営業務で外務省に勤務した後、資源エネルギー庁に異動。東日本大震災の前後にエネルギー政策を担当する部署に身を置いていたことは、自分のキャリアにとって非常に大きな経験です。経産局に帰任後は、道産食品の輸出拡大、観光関連産業の振興、産業人材育成や物流効率化の取組のほか、2018年のブラックアウト発生時の対応など、エネルギーの安定供給関連業務に携わっています。

Q3. これまでの経験でどんな業務が魅力的でしたか？

電気保安行政のように社会の基盤を支える仕事から、再生可能エネルギーを活用した最先端の水産養殖技術開発など、かなり幅広い業務を経験しそれぞれ違う（違いすぎる）魅力があって絞るのは難しいです。ただ、経産局では2年程度で部署異動があり、自分の前任・後任や関係者がバトンをつないで数年かけて成果に結びつくというプロセスは多くの仕事に共通しています。

どんな仕事でも、自分がそのプロセスに欠かせない一部になれるというのはこの職場の魅力だと思います。

Q4. 経済産業局で求められる技術系人材の力とは？

世の中のありとあらゆるものに「技術」が活かされていることを経産局で働いて実感しました。GXや半導体など、いま北海道で動いている大型プロジェクトだけを取り上げても、この先の社会において「技術」の重要性がますます高まるのは確実です。

技術を突き詰めることに挫折（＝大学院を中退…（再掲））した自分が言っているのかわかりませんが、学生の頃に技術的な知識や経験の下地を身につけたみなさん方が活躍できるフィールドが、経産局には数え切れないほどあります。

Q5. 公務員を目指す若者へメッセージ

“未来に誇れる日本をつくる。”

経済産業省のミッションです。私達と一緒に、北海道から未来をつくっていきましょう！

～経済産業省の地方機関紹介～

北海道産業保安監督部とは？

北海道産業保安監督部 保安課

係長 元吉（平成29年入部）



産業保安監督部は社会インフラのうち電力、ガス（都市ガス、LPガス）の保安及び産業のうち鉱山、火薬類、石油コンビナートの保安を監督している組織です。

事業者が法令に則って施設を維持・管理しているかを申請書や現場に行き確認します。

私は現在、保安課に所属し、北海道管内で火薬類を製造している事業者を監督するとともに、法令手続きが北海道庁及び札幌市に権限委譲されているLPガス、高圧ガス、石油コンビナートについて、3機関で連携して保安監督をしています。

今の部署の前には、経済産業省（本省）に出向し全国の鉱山を監督する部署にいました。そこでは、審議会の運営、予算の要求などの業務を担当していました。本省は同世代の若手の職員が多くとても明るく仕事がしやすい環境でした。

北海道産業保安監督部はベテラン職員が多く、分からないことがあっても聞きやすい雰囲気です。日々勉強しながら業務を進めています。

監督部に入る前に業務の知識などを知っている必要はありません。入ってから業務に関する研修を受講する機会が数多くありますし、日頃、先輩から教わりながら仕事を行っていく中でも、自然と身に付いていきますので心配はありません。ですので、ぜひ安心して産業保安監督部に入ってもらえればと思います。

皆さんと一緒に働ける日をお待ちしています。



成長したいと願う人を応援する

多種多様な研修制度・風土があります！

新入職員研修



新入職員同士の交流会



新入職員研修@経産研修所

採用時には局内で新入職員同士のコミュニケーション促進を目的とした研修を行うほか、経済産業研修所（東京都東村山市）で、経産省職員として勤務するにあたっての心得やビジネスマナー等に関する3～5日程度の新入職員研修を実施しています。

このほかにも、先輩職員と一緒に専門スキルに関する座学や、企業やエネルギー施設を実際に訪れ学ぶ実践型研修に参加していただけます。



防災業務研修



事業再生支援研修



プロジェクト組成研修



エネルギー現地研修（発電所訪問）



エネルギー現地研修前の“電気のいろは”勉強会（職員持込み企画）



担当部署に関係なく他部署業務を経験する「局内インターン」（省エネ施策PRイベント運営）



外部機関への出向者による報告会BBL



自治体からの出向者BBL

「BBL」～Brown Bag Lunchの略。
業務の打合せや知識習得のための研修ではなく、お昼ご飯を食べながらの気軽なディスカッションを目的とした集まり。

業務に必要なスキルや知識を学ぶため外部機関から講師を招いたり、先輩職員が講師となってノウハウを伝承する座学形式の研修を充実させています。2024年度からは北海道内の様々な経済の「現場」に出向く実践型研修を開始。職員の持込み企画による勉強会や交流会など、職員同士の経験・知識を共有する仕組みを積極的に構築しています！

局内研修 など

M E T I もっと知りたい! 経済産業省 Q&A

経済産業省はMinistry of Economy, Trade and Industry = 略称でMETIと表記します!



Q. どのような人材を求めていますか?

A. 経済産業省は、幅広い分野を担当し、常に時代のニーズを先取りすることが求められるダイナミックな政策官庁です。当局は、現場主義に立ち、困難な課題に挑戦し、最善を目指してカイゼンを続ける、そんな人材を求めています。

Q. 職場の魅力はなんですか?

A. 経済産業省の魅力は、様々な分野で活躍できる業務の幅の広さです。広い分野に興味をお持ちの方、好奇心旺盛な方が、それぞれの得意分野を活かして働ける職場です。

Q. 行政系と技術系の職員で業務に違いはありますか?

A. 行政系であっても技術系であっても様々な業務に携わることができます。技術系の職員のなかには、各種規制業務や大学や公的研究機関と連携して技術開発を支援する場合など、大学等で学んだ専門知識を活かし活躍している方が多数います。

Q. 転勤や出向は?

A. 北海道の勤務地は札幌市です。また、原則、全ての職員が東京（霞が関）の経済産業省へ数年間の出向を経験します。そのほか、当局と同じ経済産業省の地方出先機関である北海道産業保安監督部や、民間企業・自治体等にも当局職員が出向し働いています。

Q. 異動はどのようになっていますか?

A. 概ね2～3年ごとのサイクルですが、若手職員には多くの業務を経験してもらうため1～2年で異動となります。毎年、各職員からは配属等に関する希望調書を提出してもらうほか、面談等を経て、各人が持てる能力を最大限に発揮できるような人員の配置を心がけています。

Q. ワークライフバランスについて教えてください

A. 出産・育児にあたっては、産前産後休暇や育児休業を取得することが可能です。また、テレワーク制度や総勤務時間は変えずに1日の始業・終業時刻を変更可能なフレックス制度など、仕事と家庭を両立させるための様々な制度があり、ワークライフバランスのとれた働き方ができます。



経済産業省
北海道経済産業局

総務企画部 総務課人事係

〒060-0808 札幌市北区北8条西2丁目札幌第1合同庁舎5階

TEL: 011-709-2311 (代) (内線2509)

<https://www.hkd.meti.go.jp>

